2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.7

AUTOPOLIS GT 3Hours RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

VELOREX

RACING WITH FERRARI

AUTOPOLIS GT 3Hours RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

大会概要

■大会名称：2026AUTOBACS SUPER GT Round 7 AUTOPOLIS GT 3Hours RACE

■開催日：2026年10月17日（土）公式予選、18日（日）決勝

■会　場：オートポリス （1周：4.674 km）

■同日開催： 2026年FIA-F4選手権シリーズ第11戦・第12戦

■主催：株式会社ＧＴアソシエイション / オートポリス倶楽部(APC) /
株式会社オートポリス

■公認：国際自動車連盟（FIA）/ 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

■認定：株式会社GTアソシエイション（GTA）

■協力：大分県 / 日田市

■後援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/
大分県/熊本県/日田市/別府市/竹田市/由布市/阿蘇市/菊池市/大津市/
小国町/南小国町/日田市観光協会/大分市観光協会/竹田市観光ツーリズム協会/
別府市観光協会/由布市まちづくり観光局/阿蘇市観光協会/菊池観光協会/
肥後おおづ観光協会/ASOおぐに観光協会/南小国町観光協会/
阿蘇温泉観光旅館協同組合/国土交通省九州運輸局

VELOREX

RACING WITH FERRARI

◆ 参戦体制

■ ドライバー

片山　義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日	1993年11月13日
出身地	愛知県
身長	168cm
体重	69.3kg
血液型	RH+O

ニクラス　クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日	2002年10月20日
出身地	ドイツ
身長	180cm
体重	78kg
血液型	RH+A

■ チーム体制

チーム名：	VELOREX
車両名：	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー：	6
タイヤ：	横浜ゴム株式会社
ドライバー：	片山 義章　／ニクラス・クルッテン
エントラント代表：	片山 義章
チーム監督：	小倉 啓悟
広報兼マネージャー：	塩田 裕子
レースアンバサダー：	YUYU ・ AIKA (VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN) ゆづ (VELOREX アンバサダーfrom TONE)

■ レースアンバサダー

YUYU

AIKA

ゆづ

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.7

AUTOPOLIS GT 3Hours RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆予　選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	23℃（GT300クラスQ1開始時）
路面温度	29℃（GT300クラスQ1開始時）
予選開始	14時30分（GT300クラスQ1-Ａ組開始）

VELOREX、片山義章が見事にQ1突破！ 決勝は15番手グリッドからのスタートに！

VELOREXは、オートポリス戦に向けて様々な領域でマシンの見直しを図ってきた。今シーズンは思わぬ苦戦を強いられてはいるが、後半戦に向けて両ドライバーも息のあうところを見せており、チームともども勝利へのモチベーションは高い。空力面とクーリング面を改良した最新型のFERRARI 296 GT3 EVOはテクニカルコースのオートポリスにもマッチしており、ニクラス ・クルッテン選手にとっては初挑戦のコースだが、アップダウンに富んだヨーロピアンスタイルのサーキットだけに期待が持てる。もちろんエースドライバー、片山義章にとっては好きなコースのひとつだ。今シーズンのSUPER GT GT300クラスは各チームから例年より多くの最新GT3車両が投入されていることもあって、本大会は3時間レースとなり、2度の給油が義務付けられているため、タイヤメーカーによるタイヤ特性の違いによって、タイヤ交換の戦略や、ピット作業時間の短縮も重要なファクターとなっている。

今シーズンのSUPER GTでは、予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組に分けられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より５ポイント増となった。それにより、これまでにも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。GT300クラスは高得点順に７戦の合計でタイトルが決定される（延期のマレーシア大会は最終戦もてぎ大会で代替開催が発表されている）

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：15位（予選Ｑ１:９位／片山選手：1分44秒998／予選Q2：15位／ニクラス選手：1分44秒463）

快晴に恵まれたオートポリスSUPER GT第７戦、午前10時30分からスタートする公式練習を前に、2026年7月28日、令和8年熊本地震でお亡くなりになられた方々とそのご遺族に哀悼の意を表す黙とうが捧げられた。20分間の公式練習で、VELOREXのふたりのドライバーはマシンのバランスに問題を抱え、チームはセットアップの変更を何度か試みる。

最終的に25周を消化し、1分45秒592をマークしたが、予選に向けてエンジニアとドライバーは走行データを確認し、さらなるセットアップ変更を試みた。

14時30分にスタートした予選Ｑ１グループＡ組に出走したのはエースドライバーの片山。チーム全員の期待と不安を一身に背負いコースインすると３周目に１分44秒998をマークして、予選9番手でＱ２進出を決めた。予選Ｑ２までの短い時間でチームは片山のアドバイスに基づきセットアップをアジャスト。予選Ｑ２ではニクラスが１分44秒463をマークし、6号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは決勝15番手グリッドからのスタートとなった。

VELOREX

RACING WITH FERRARI

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.7

AUTOPOLIS GT 3Hours RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆決　勝

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	25℃（スタート時）
路面温度	33℃（スタート時）
決勝レース開始	13時10分 （正式スタート時刻　13時16分33秒）
レース予定走行距離	3時間 93周 （正式フィニッシュ時刻 16時18分10秒）

15番手から2番手まで追い上げ、最終的に6位チェッカー。
しかし1周減算のペナルティでVELOREXはポイント圏内の13位完走。

10月18日の決勝日は快晴。福岡航空自衛隊のF2戦闘機がサーキット上空で記念飛行を演じ、華やいだムードの中で決勝スタートを迎えた。午後1時10分スタートの決勝レースは、交通機動隊に先導されたパレードラップの後、1周のフォーメーションラップに続き3時間耐久レースの幕が上がった。6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはニクラスがステアリングを握って15番手からスタートするものの、直後の混乱で接触して押し出され、ひとつポジションを落として1周目を通過。幸いマシンにダメージは無く、再び追い上げを開始した。コース幅の狭いオートポリスは抜きどころが少ない上、ライバルたちに比べてストレート速度が伸びない厳しい状況の中、コーナーリングとブレーキングでタイムを稼ぐ走りで、ニクラスは次第にポジションをアップ。途中、セーフティカーも出される場面もあったがミス無く走り続け、33周目にピットインするまでに9番手まで浮上していた。

タイヤ交換、給油を終えて17番手でレースに復帰した片山は、マシンの状態を確認すると一気にペースアップ。毎周プッシュ、プッシュで攻めまくり、前が開けた状態でアンダーカットしたような形となったこともあって、一時はコース上のGT300クラス最速タイムをマークするほどの速さを発揮。FCYやセーフティカーが出される中、残り1時間となる59周目には2番手まで浮上。63周を終えた段階で、再びニクラスに交代して2回目の給油義務を消化した。ピット作業のミスもなく、11番手でコースに復帰したニクラスは、ライバルである同じフェラーリ296ＧＴ３・ＥＶＯの2台に挟まれる形で熾烈なポジション争いを展開し、競り勝って8位でチェッカーを受けた。レース直後の暫定結果では上位2台にペナルティが課され6位となったが、レース終了後に6号車に1周減算のペナルティが課され、最終結果は13位。なんとかポイントは獲得したが、悔しい結果のレースとなった。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山選手＆ニクラス選手）　　決勝結果：13位

※ニクラス ・クルッテンの最大運転時間の超過により、競技結果より1周減算。

VELOREX

RACING WITH FERRARI

◆コメント

片山　義章　選手のコメント

公式練習、予選とマシンのハンドリングに満足がいかないまま、不安を抱えて予選に挑む事になったので、自分がアタッカーとなってＱ１突破を目指しました。前で遅いマシンがウィービングしてアタックラップを邪魔されましたが、なんとかギリギリでＱ２進出を決め、ニクラスも良い走りを見せてくれました。しかし、このままでは決勝で勝ち目はないと考え、エンジニアと相談し、決勝に向けてこれまでトライしたことがないほど、大幅なセットアップ変更を施しました。それが正しい方向に進んでおり、レースでは思い切った走りができたと思います。マシンは最高でしたし、僕のスティントでは全体最速をマークできたと聞いて満足です。ニクラスとともに6位入賞に満足して帰路についたのですが、電話でペナルティを聞いて落胆しました。でも自分はチーム代表として、落ち込んでいるスタッフを励まし、モチベーションを高めてモテギに臨む所存です。応援ありがとうございました。

ニクラス・クルッテン選手のコメント

土曜日の夜から日曜にかけて、チームは素晴らしいマシンを用意してくれました。前日とはまるで違うマシンに仕上がっており、思いのままに攻めることができました。ストレートの伸びが無かったのが厳しかったですが、コーナーリングのバランスは最高で、このフィーリングのままモテギを戦えるのであれば、絶対に表彰台、そして優勝を狙えるマシンだと思います。今日のレースは自分がダブルスティントをこなしましたが、片山選手の走りも素晴しく、15番手から何台ものマシンをオーバーテイクすることができました。フェラーリ同士の戦いでトップを奪えたのも嬉しかったですね。今日はチームの皆さんに本当に感謝しています。ペナルティを受けた最終結果は残念でしたが、自分にとって勝者以外はルーザーなので、結果そのものは大きな問題ではなく、それよりレース内容を振り返れば次のモテギに向けてポジティブな内容だったと思っています。次のモテギでリベンジします！

小倉　啓悟　監督コメント

ニクラス・クルッテン選手の運転時間超過により、正式結果では1周減算のペナルティを課されてしまいました。ＧＴ500優勝マシンが、3時間経過の直前にコントロールラインを通過したので、もう1周することになり、自分たちの作戦が攻めすぎた結果となりました。13位完走ということでポイント獲得は果たせましたが、頑張ってくれたふたりのドライバーや、応援してくださった皆さんには本当に申し訳ない結果となってしまいました。

正式結果は残念ですが、レース内容に関してはとても良かったと思います。大幅なセットアップ変更の方向性が正しかったことで、ふたりのドライバーも満足するマシンでした。特に片山義章選手のペースはすこぶる良かったです。もう数周引っ張っていればペナルティを受けることもなかったのですが、攻めた結果ですし、そこは今後の課題だと思っています。

今日は次のモテギに向けてポジティブなレースでした。応援ありがとうございました

UNI-ROBO

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛治島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモーターズ
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田渕塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社